

鳥取県 2025 年度の雇用動向に関する企業の意識調査

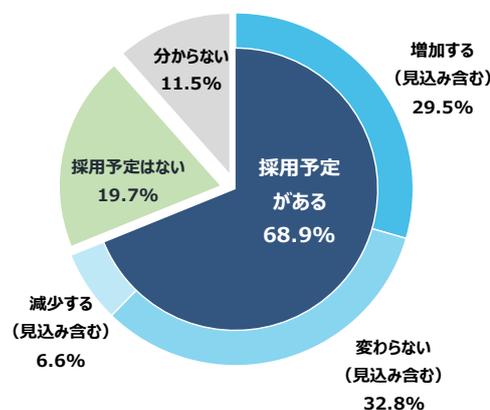
正社員「採用ある」68.9%、4年連続の6割超 ～安定した人手の確保が重要課題～

はじめに

2024年10月の少数与党の発足に加え、今年1月の第二次トランプ政権の誕生などにより、関税や株価、為替、国際情勢などが絡み合い、取り巻く経営環境が大きく変化している。これまで以上に不確実性が高まるなか、継続的な賃金の引き上げ、働きやすい職場環境を整備できる企業へ優秀な人材が集まりやすくなる一方で、中小・零細企業における人手不足のさらなる深刻化が懸念される。鳥取県における2月の有効求人倍率は1.35倍となり、全国で13番目に高かった。

また、帝国データバンク広島支店が3月11日にリリースした「中国地方 人手不足に対する企業の意識調査（2025年1月）」では、正社員が「不足している」と回答した中国地方の企業は52.0%にのぼり、人材の維持・確保が引き続き大きな経営課題となっている。

帝国データバンク鳥取支店では、鳥取県に本社を置く企業へ2025年度の雇用動向に関する意識調査を実施した。調査期間は2025年2月14日～2月28日、調査対象は鳥取県に本社を置く企業163社で、有効回答企業数は61社（回答率37.4%）。

■2025年度の正社員雇用


注1: 母数は、有効回答企業61社

調査結果（要旨）

- 2025年度の正社員採用、「予定がある」企業は68.9%、4年連続で6割を超える業種別、『サービス』（80.0%）、『製造』（75.0%）が上位に
- 2025年度の非正社員採用、「予定がある」企業は50.8%、2年ぶりに5割を上回る業種別、『サービス』が60.0%で最多

1. 2025 年度の正社員採用、「ある」は 68.9%、4 年連続で 6 割を超える

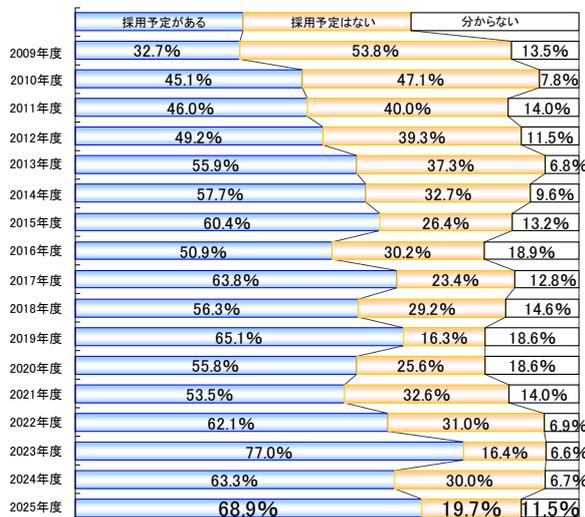
2025 年度（2025 年 4 月～2026 年 3 月入社）の正社員（新卒・中途入社）の採用状況について尋ねたところ、「採用予定がある」

（「増加する」「変わらない」「減少する」の合計）と回答した企業は、61 社中 42 社で、構成比 68.9%を占めた。前年調査（2024 年度）より 5.6 ポイント高く、4 年連続で 6 割を超えた。一方、「採用予定はない」は 19.7%（12 社）となった。前年調査より 10.3 ポイント低く、2 年ぶりに 2 割を下回った。なお、「分からない」は 11.5%（7 社）だった。

規模別にみると、「採用予定がある」では、『大企業』が構成比 100.0%（4 社）で最も高かった。前年調査（100.0%）から横ばいで推移し、2 年連続で 10 割となった。『中小企業』は 66.7%（38 社）となった。前年調査（60.0%）より 6.7 ポイント高く、5 年連続で 6 割を上回った。一方、「採用予定はない」では、『中小企業』が 21.1%（12 社）を占めたが、『大企業』はなかった。

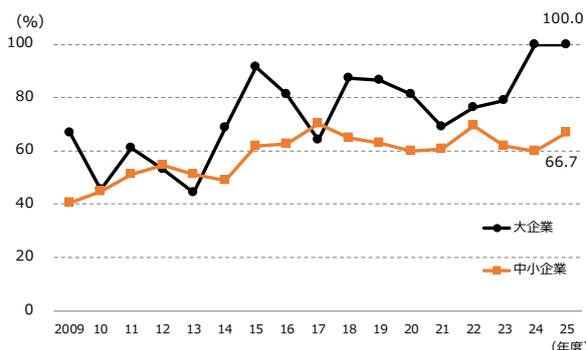
業種別（母数 10 社以上）にみると、「採用予定がある」では、『サービス』（構成比 80.0%・8 社）が最も高く、次いで、『製造』が 75.0%（12 社）、『卸売』が 53.8（7 社）で続いた。一方、「採用予定はない」では、『卸売』（38.5%・5 社）が最も高く、『製造』（18.8%・3 社）、『サービス』（10.0%・1 社）が続いた。

■正社員雇用の推移



注：「採用予定がある」は、「増加する（見込み含む）」「変わらない（見込み含む）」「減少する（見込み含む）」の合計

■正社員の「採用予定がある」割合の推移～規模別～



■2025年度の正社員雇用

	採用予定がある	増加する (見込み含む)	変わらない (見込み含む)	減少する (見込み含む)	採用予定はない	分からない	合計
全国	58.8 (6,372)	21.7 (2,352)	28.4 (3,080)	8.7 (940)	28.5 (3,086)	12.7 (1,377)	100.0 (10,835)
鳥取	68.9 (42)	29.5 (18)	32.8 (20)	6.6 (4)	19.7 (12)	11.5 (7)	100.0 (61)
大企業	100.0 (4)	25.0 (1)	50.0 (2)	25.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (4)
中小企業	66.7 (38)	29.8 (17)	31.6 (18)	5.3 (3)	21.1 (12)	12.3 (7)	100.0 (57)
うち小規模	42.9 (6)	21.4 (3)	21.4 (3)	0.0 (0)	28.6 (4)	28.6 (4)	100.0 (14)
農・林・水産	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)
金融	100.0 (2)	0.0 (0)	50.0 (1)	50.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (2)
建設	66.7 (6)	33.3 (3)	33.3 (3)	0.0 (0)	11.1 (1)	22.2 (2)	100.0 (9)
不動産	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (1)	50.0 (1)	100.0 (2)
製造	75.0 (12)	50.0 (8)	25.0 (4)	0.0 (0)	18.8 (3)	6.3 (1)	100.0 (16)
卸売	53.8 (7)	23.1 (3)	23.1 (3)	7.7 (1)	38.5 (5)	7.7 (1)	100.0 (13)
小売	85.7 (6)	28.6 (2)	42.9 (3)	14.3 (1)	14.3 (1)	0.0 (0)	100.0 (7)
運輸・倉庫	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)
サービス	80.0 (8)	10.0 (1)	60.0 (6)	10.0 (1)	10.0 (1)	10.0 (1)	100.0 (10)

注1：網掛けは、鳥取県の全体以上を表す
注2：全国の母数は有効回答企業1万835社、鳥取県は61社

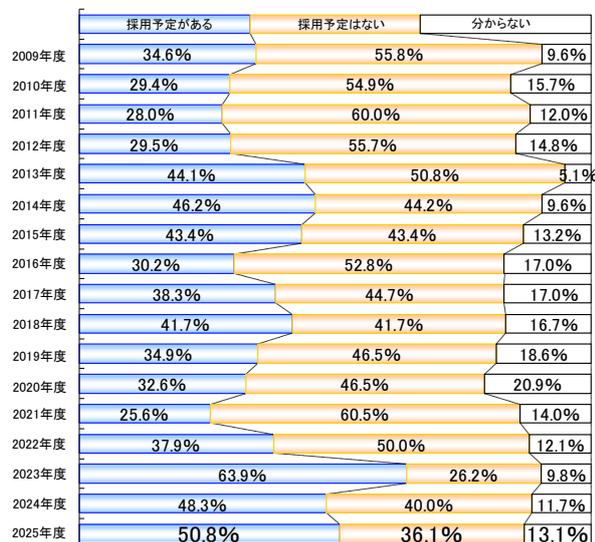
2. 2025 年度の非正社員採用、「ある」は 50.8%、2 年ぶりに 5 割を上回る

2025 年度（2025 年 4 月～2026 年 3 月入社）の非正社員（派遣社員、パート・アルバイトなど）の採用状況について尋ねたところ、「採用予定がある」（「増加する」「変わらない」「減少する」の合計）と回答した企業は、61 社中 31 社で、構成比 50.8%を占めた。前年調査（2024 年度）より 2.5 ポイント高く、2 年ぶりに 5 割を超えた。一方、「採用予定はない」は 36.1%（22 社）となった。前年調査より 3.9 ポイント低かったものの、2 年連続で 3 割を上回った。なお、「分からない」は 13.1%（8 社）だった。

規模別にみると、「採用予定がある」では、『大企業』が構成比 100.0%（4 社）となった。前年調査（80.0%）より 20.0 ポイント高く、2 年連続で 8 割を上回った。『中小企業』は 47.4%（27 社）となった。前年調査（45.5%）より 1.9 ポイント高く、4 年連続で 4 割を上回った。一方、「採用予定はない」では、『中小企業』が 38.6%（22 社）を占めたが、『大企業』はなかった。

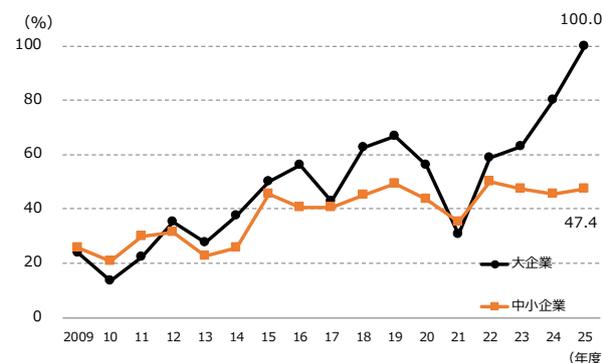
業種別（母数 10 社以上）にみると、「採用予定がある」では、『サービス』（構成比 60.0%・6 社）が最も高く、『製造』（43.8%・7 社）、『卸売』（38.5%・5 社）が続いた。一方、「採用予定はない」では、『卸売』（53.8%・7 社）が最も高く、『製造』（37.5%・6 社）、『サービス』（30.0%・3 社）が続いた。

■非正社員雇用の推移



注：「採用予定がある」は、「増加する（見込み含む）」「変わらない（見込み含む）」「減少する（見込み含む）」の合計

■非正社員の「採用予定がある」割合の推移～規模別～



■2025年度の非正社員雇用

	採用予定がある	増加する (見込み含む)	変わらない (見込み含む)	減少する (見込み含む)	採用予定はない	分からない	合計
全国	41.7 (4,513)	11.1 (1,201)	24.6 (2,668)	5.9 (644)	42.5 (4,601)	15.9 (1,721)	100.0 (10,835)
鳥取	50.8 (31)	9.8 (6)	32.8 (20)	8.2 (5)	36.1 (22)	13.1 (8)	100.0 (61)
大企業	100.0 (4)	0.0 (0)	75.0 (3)	25.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (4)
中小企業	47.4 (27)	10.5 (6)	29.8 (17)	7.0 (4)	38.6 (22)	14.0 (8)	100.0 (57)
うち小規模	35.7 (5)	14.3 (2)	21.4 (3)	0.0 (0)	42.9 (6)	21.4 (3)	100.0 (14)
農・林・水産	100.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)
金融	100.0 (2)	0.0 (0)	50.0 (1)	50.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (2)
建設	33.3 (3)	0.0 (0)	33.3 (3)	0.0 (0)	33.3 (3)	33.3 (3)	100.0 (9)
不動産	50.0 (1)	0.0 (0)	50.0 (1)	0.0 (0)	50.0 (1)	0.0 (0)	100.0 (2)
製造	43.8 (7)	18.8 (3)	25.0 (4)	0.0 (0)	37.5 (6)	18.8 (3)	100.0 (16)
卸売	38.5 (5)	0.0 (0)	30.8 (4)	7.7 (1)	53.8 (7)	7.7 (1)	100.0 (13)
小売	71.4 (5)	0.0 (0)	42.9 (3)	28.6 (2)	28.6 (2)	0.0 (0)	100.0 (7)
運輸・倉庫	100.0 (1)	100.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (1)
サービス	60.0 (6)	20.0 (2)	30.0 (3)	10.0 (1)	30.0 (3)	10.0 (1)	100.0 (10)

注1：網掛けは、鳥取県の全体以上を表す
注2：全国の母数は有効回答企業1万835社、鳥取県は61社

まとめ

2025 年度に正社員の「採用予定がある」と回答した鳥取県の企業は 68.9%となり、4 年連続で 6 割を超えた。また、非正社員の「採用予定がある」と回答した企業は 50.8%となり、2 年ぶりに 5 割を上回った。少子高齢化の進展に伴い、労働人口の減少が深刻な問題となっており、特に、若年層の労働市場への参入が限られているなか、今年 4 月からは高齢者雇用安定法の改正により、すべての企業に 65 歳までの雇用確保制度を設けることが義務化された。

大手企業や中堅企業に比べて、価格交渉力や財務力に乏しい中小・零細企業のなかには、人手不足の課題が浮き彫りになっているにも関わらず、予定する募集人員の確保が難しく、新たな採用を控えざるを得ない状況を余儀なくされている企業も多い。さらに、上昇する人件費を含むコストを販売価格に転嫁することが求められる一方で、業務の効率化や省人化への対応も急務であり、今後、計画人員を安定して採用できるかどうか重要なカギとなるであろう。

【企業からの声】

- ・初任給を上昇させるだけの原資が無い (専門商品小売)
- ・引き続き人手不足は続くと思う。新卒は大手企業に流れる傾向が強い (車体製造)
- ・採用は行っているが、希望人数に至らない。若手人材の採用が極めて難しい (鉄鋼卸)
- ・人材不足で採用できないことが多く、募集する職種に希望者が来ない (食料品製造)
- ・職場環境や待遇改善が影響し、中途退職者は以前に比べて減少している。求人倍率の低下や企業のリストラのニュースから、求職者側も保守的になっている可能性がある (鍛工品製造)
- ・今後は高齢の退職者が出るため、引継ぎのための採用を早急に進めたい (ガソリンスタンド)
- ・地域柄、労働者人口が少なく、さらに時給を上げざるを得ない状況が続いている (飲食店)
- ・短時間パートによる営業力強化を図るための採用を考えている (リネンサプライ)
- ・募集はかけているが、申し込みがなく、派遣会社から派遣を依頼している (特殊機械製造)
- ・賃上げをする余裕がなく、新規社員を求める気持ちは強いが、企業としての魅力が無いという課題を抱えている (ガソリンスタンド)

【問い合わせ先】 (株)帝国データバンク 鳥取支店 担当：増田

TEL 0857-23-5231 FAX 0857-27-3073

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。

著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。